



た活動の経験を生かして、倒壊家屋から数多くの人々を救出した活躍に  
はめざましいものがありました。こ  
うした経験から、地域密着性や大き  
な動員力を有する消防団の役割の重  
要性が再認識されています。



発災時以外にも、消防団は、出初  
式や操法・規律訓練などさまざまな  
活動を行っています。消防団全体に  
関わる行事のほかにも、各分団ごと  
に定期的な訓練や町内の巡回、自治  
会との合同防災訓練などを行って  
います。  
複雑多様化する災害に適切に対応

## ○ 平時の訓練やパトロール

# 団員 INTERVIEW

## 第5分団長 中村 武司 さん

私たち第5分団は、中野台と中野台鹿島町を担当していて、現団員数は14人です。火災時の出動以外にも、月2回の定期訓練や夜間の巡回、消火栓の位置確認、水出し訓練などを定期的に行っており、現在は、消防操法大会に向けた訓練も週に2回行っています。

また、地域の運動会や祭りなどの行事に参加し、警備を担当するなど、地域とのつながりを大切にしています。この中野台地区は、江戸川に隣接しているため、火災だけでなく水害への備えも必要です。さらに、高齢者世帯も増えている状況ですので、災害時の避難を支援するためにも、各団員が各町内の世帯状況を細かく把握するよう常に心掛けています。

入団してから21年目を迎えますが、父親も含め団の先輩方からの教を後輩にうまく引き継ぎながら、地域を守ってきたいと思います。



するためには、その知識、技能の向上が不可欠であり、消防職員や消防団員に対する教育訓練は極めて重要です。

消防団では、消火の基本的な操作の習得を目指すための手順、ポンプ操法の訓練を分団ごとに平常時に行っています。

ポンプ操法は、実際の火災現場で

の消火を想定して行われるもので、全国規模での消防操法大会も実施されています。

また、操法訓練の他にも、災害現場での後方支援や、負傷者の応急救護処置などにも対応できるよう研修会に参加するなど、消防団員は日々技術の向上に努め、訓練に励んでいます。